

光市で「タケノコ料理体験交流会」を開催しました！

令和6年4月27日（土）、光井コミュニティセンター（光市光井4丁目）において、「タケノコ料理体験交流会」を開催しました。

この取組は、旬の食材である地域産のタケノコを使って、楽しみながら地産・地消を促進しようと、「周南地区林業研究グループ連絡協議会女性部会」（会長：近道千佐子、会員13名）が実施したもので、当日は光市近郊から親子連れを含む30名の参加がありました。

料理体験は5つの班に分かれて行い、参加者は、工夫を凝らしたタケノコ料理を、女性部会員7名の指導により楽しみました。試食では、出来上がったタケノコ料理がズラリと並び、参加者全員でおいしくいただきました。

試食後は、下松市、光市林研の両代表から、日頃の取組状況や料理体験に用いたタケノコの掘り取りから下ごしらえまでの説明が行われるとともに、事務局からは「やまぐち森林づくり県民税の実施状況」など各種のPRも行いました。

このたびの料理体験交流会は、昨年11月の「シイタケ料理体験交流会」に続いての開催となりましたが、20名の募集人員を大幅に上回る56名の応募をいただき、急遽参加の枠を30名に広げて実施するなど、タケノコ・シイタケの地産・地消を促進する良い機会となりました。当協議会女性部会では、特産林産物の消費を通して、都市住民や子供たちに森林に親しみをもっていただくため、今後も同様の取組を進めていきたいと考えています。



タケノコ料理体験の様子



林研代表者からのPR